
舞蝶は夜の住民

あたなかさ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

舞蝶は夜の住民

【コード】

N0889I

【作者名】

あたなかさ

【あらすじ】

ひらりひらり蝶がとまるひらりひらりとたでゆくうたかたの夢し
あわせの夢ひらひらと

prologue

V a t t e t i v a t
V a t t e t i v a t
V a t t e t i v a t g h u r !

「みんな、降ってきましたよ」

一気に歌が止まり、みな窓に駆け寄った。寒い日だというのに、窓を開けて小さな手に白い粒を掴もうとする。手に乗せたその瞬間から、雪は消えてしまった。儂い、冷たいと盛り上がる子どもたちを、部屋の隅で優しく見つめていた。そっと、一人の少女がホットココアを差し出した。

「良かった、ホワイトクリスマスになりましたね」

「マリア。ありがとう、皆の期待に答えられて良かった」

美しい微笑み、優しい声音。この美少女とはもうすぐで半年になる。

差し出しされたホットココアを受け取ると、美少女は漆黒に輝く長い髪を揺らして他の子どもたちと一緒に雪を眺め始めた。

ホットココアが甘い。渦巻く茶白を見つめる。不思議な感覚が私を襲った。

「ママ、大丈夫？ 顔色悪いよ」

ミネットは……1年。いや8ヶ月だ。頬のそばかすがとても似合っていた。

「ミネット、もう窓を閉めよう。皆の事を思いやるって毎朝、神に誓ってるだろう」

ああ私は大丈夫よ、と口に出す気力すらなくなってくる。……大

丈夫よ心配しないで。お願い、ヴァイオレット、そんな瞳で私を見つめないで。

ゆっくりと席を立つ。気分が悪くなって、吐き気が込み上げてくる。私は勢いよく席を立った。

「きゃっ」

マリアがか細い悲鳴を上げた。ホットココアごと、マグカップが床にたたきつけられた。子どもたちにぶつかりながら、無我夢中で外に飛び出す。芯から凍えそうな風が私の体を冷やしていく。足を取られて少し積もった雪の上に倒れこんだ。目の前は真っ白で、空は真っ黒で。そしてようやく私は冷静を取り戻すのだった。

一体いつからこの雪を見てきたのか、いつまで見ていられるのか。今年50を迎える聖母は、最近そんな事ばかり考えている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0889i/>

舞蝶は夜の住民

2010年12月24日14時08分発行